

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
リニモ沿線地区

平成30年3月

愛知県長久手市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	リニモ駅周辺居住人口	人	39,663	46,100	43,220	確定 見込み ●	△	あり - なし ●	43,512	H29年12月	△	地域の魅力を高めるため、土地区画整理事業において大規模商業街区の整備を先行したことから、目標値の達成には至っていないものの、人口は着実に増加している。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	子育て環境の充実及び土地区画整理事業区域内の大型商業施設の立地に伴い、生活サービス水準が向上し、駅周辺の居住人口は現在も着実に増加している。今後は、想定していた宅地供給が推進され、目標値の達成へ更なる定住人口の増加が見込まれる。	
指標2	リニモ利用者数	人/年	3,929,000	4,141,000	4,850,000	確定 見込み ●	○	あり - なし -	5,494,000	H29年12月	○	-	-	各種整備によるリニモ駅へのアクセス性、移動利便性の向上、住環境の改善により人口が増加し、更なるリニモ利用者数の増加に繋がっている。また、交付対象事業以外でも、N-バス再編によるリニモ駅へのアクセス性の向上、愛知県等によるリニモの利用促進策等もリニモ利用者数の増加に寄与していると考えられる。
指標3	待機児童数	人	45	23	17	確定 見込み ●	○	あり - なし -	20	H29年12月	○	-	-	各種保育園の整備等により、待機児童数が減少し量的な子育て環境は向上しつつあるが、着実な人口増加による子育て世代の増加により、待機児童の需要も増加し、横ばいとなっている。今後もこの傾向は続くことが予想されるため、市内子育て支援施設の整備を推進し、継続的な子育て環境の充実を図っていく。
指標4	「住みよい」と思う人の割合	%	41.2	44.3	47.2	確定 ● 見込み	○	あり - なし -	-	-	-	-	-	土地区画整理事業等による生活サービス水準の向上、景観に資する連続照明の設置等による良好な街並みの形成、各種道路事業の推進によるアクセス性、安全性の向上及び防災機能強化のほか、交付対象事業以外のその他の取組みも起因し、安心安全で「住みよい」と思う人の割合の増加に繋がったものと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み			-	-		-	-	
その他の数値指標2					確定 見込み			-	-		-	-	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために行う方策 	着実な事業推進による良好な宅地供給	・大規模商業街区の先行整備に続き、着実に土地区画整理事業が進捗しており、良好な宅地整備及び供給が進んでいる。	・対象地区内の人口は、継続的に増加している。	・今後も駅周辺等の利便性が高い地域への居住を促進するため、駐輪場等の駅へのアクセシビリティ向上に資する整備を進めるとともに、その他の取り組みとしてリニモ利用促進等を検討し、駅を中心としたコンパクトで、魅力的な宅地供給を図る。
	子育て環境の維持・向上	・経年的に変化する待機児童の需要への対応として、民間活力による保育施設の設置など、受入児童数の拡大を図っている。	・待機児童数は横ばいで推移している。	・今後も学校及び各種保育施設の維持・充実を進め、継続的に子育て全体の環境の向上を図っていく。
	住み続けたいと思える居住環境の形成	・土地区画整理事業の進捗に合わせ、居住者の憩いの空間となる公園整備のほか、調整池の上部を利用した緑化施設や環境配慮型の舗装整備等が進んでいる。	・公園、緑化施設、環境配慮型舗装等の整備により、良好な居住環境の形成が進んでいる。	・土地区画整理事業をはじめとした面整備の推進による良好な住宅地の提供に併せ、今後も生活に付加価値を与えられる憩いの空間の創出を図る。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	駅周辺の一体的な事業の推進	・居住者や来訪者が安全・快適に駅を利用できる環境の提供に向け、駅周辺におけるバスシェルターや駐輪場等の利便施設の整備を進めている。	・駅周辺におけるバスシェルターや駐輪場等の利便施設の整備により、駅へのアクセス環境が向上している。	・大型商業施設の開業に伴い、今後も地区周辺の交通需要の高まりが想定されるため、渋滞緩和に資する道路網の整備や身近な交通安全対策に資する道路改良を検討する。また、広域的な移動円滑化も含めた公共交通の利便性を高め、自動車移動からの転換を図る取組みを行う。
	駅周辺における魅力発信や交流促進機能の充実	・駅周辺にまちの新たな顔を整備することを目的として、隣接した公園でイベントを実施するなど様々なプロジェクトを実施し、地域の魅力発信や交流の促進に向け、その実現に向けた施設整備の検討及び施設の活用主体の醸成に向けた取組みを進めている。	・魅力発信や交流促進に繋がる場となる施設の検討が進んでいるほか、コミュニティの醸成を踏まえた施設の利用に向けた検討が進んでいる。	・今後は、持続可能な交流の促進に向け、効率的な施設整備と主体的に施設利用ができる人材育成の両面で取組みを進めていく。更に、文化が息づく既存施設に観光交流機能等の新たな付加価値を見出し、多様な主体の交流創出を図る。
	環境配慮型のまちづくりの推進	・土地区画整理事業の進捗に合わせ、調整池の上部利用等による緑地の創出や、河川敷における親水空間の創出に向けた整備を進めている。	・豊かな自然環境との共生が可能となるような市街地の形成に向けて、環境に配慮した付加価値の高い居住環境の形成が進んでいる。	・今後も、各所に緑地や親水機能を担う広場整備を推進するほか、環境配慮型の施設整備を推進し、潤いと憩いが共存した居住環境の形成を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項